

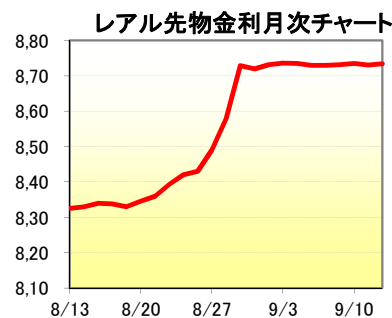
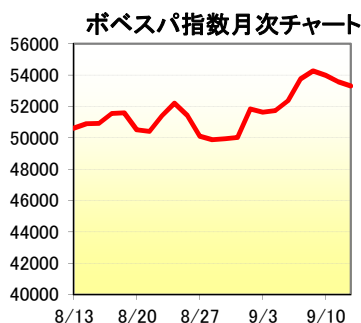
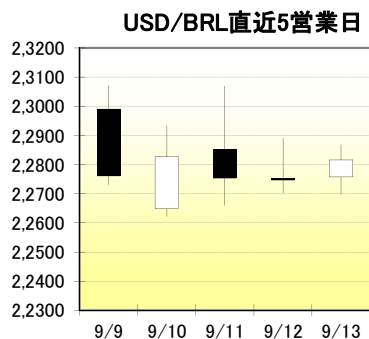
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

| | | | 9月9日 | 9月10日 | 9月11日 | 9月12日 | 9月13日 | Net Chg |
|-------|---------------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| Forex | USD/BRL | Spot | 2,2760 | 2,2850 | 2,2730 | 2,2750 | 2,2810 | +0,0060 |
| | USD/YEN | Spot | 99,62 | 100,38 | 99,92 | 99,48 | 99,38 | -0,1000 |
| | EUR/USD | Spot | 1,3259 | 1,3268 | 1,3311 | 1,3299 | 1,3301 | +0,0002 |
| | BRL/YEN | Spot | 43,77 | 43,97 | 43,92 | 43,73 | 43,59 | -0,1400 |
| Swap | Dollar Clean | 6MTH(p.a.) | 1,48 | 1,53 | 1,85 | 1,60 | 1,57 | -0,0306 |
| | | 1Year(p.a.) | 1,77 | 1,82 | 1,99 | 1,86 | 1,81 | -0,0528 |
| | Real Interest | 6MTH(p.a.) | 9,50 | 9,50 | 9,52 | 9,60 | 9,59 | -0,0055 |
| | | 1Year(p.a.) | 10,00 | 10,01 | 10,09 | 10,19 | 10,17 | -0,0162 |
| Stock | Bovespa | | 54.252 | 53.979 | 53.570 | 53.307 | 53.798 | +490,42 |
| Bond | CDS Brazil 5y | | 187,70 | 185,63 | 175,88 | 175,88 | 175,01 | -0,8660 |
| | Global 40 | | 117,750 | 117,250 | 117,250 | 117,375 | 117,125 | -0,2500 |

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

| イベント | 予想 | 実績 | 前回 | なし |
|--------------|--------|--------|-------|----|
| 経済活動(前月比,7月) | -0.60% | -0.33% | 1.03% | |
| 経済活動(前年比,7月) | 2.89% | 3.38% | 2.35% | |

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$2.2990で寄り付いた。
- 週初のレアルは寄り付き直後に伯中銀がドル売り介入を実施したことを受けてレアルはじりじりと上昇し、更にポジション調整と思いきやレアル買いも見られるとレアルは2.2800を上抜けて続伸した。
- 翌10日には中国の8月の工業生産が過去1年5カ月で最大の伸びとなったほか、米国によるシリア攻撃が回避されるとの見方が強まるとリスク資産の買いが見られ、レアルもつられて大きく上昇。更に伯中銀がドル売り介入を実施するとレアルは週間高値となるUS\$1=R\$2.2650まで上値を拡大したが、大口の資金流出の噂に加えて、オバマ米大統領が対シリア軍事攻撃が議会の承認を得られるよう戦略を修正したとの報が嫌気されるとレアルは2.29台前半まで急反落した。
- 週央には大口の資金流出の噂からレアルは下落し、週間安値となるUS\$1=R\$2.3070まで下値を拡大したが、資金流出によるレアルの下落が収まると、米国主導によるシリア攻撃への懸念が薄れたことを受けたリスク資産買いの動きにつられてレアルは2.26台後半まで反発した。
- 翌12日には米FOMCを控えて様子見となる投資家が多く見られ、レアル相場は薄商いとなる中、7月のユーロ圏鉱工業生産が予想以上に落ち込んだことが嫌気されると、ユーロが下落、レアルもつられて2.28台後半まで下落した。しかし大口の資金流入の噂が聞かれるとレアルは急伸、2.27台後半まで買い戻される展開となった。
- 週末にかけてはレアル相場の流動性が更に低下し、レアルは伯中銀によるドル売り介入を受けて一時2.2700を上抜け上昇する場面も見られたが、直ぐに反落、2.2800を中心に小幅に推移し、結局US\$1=R\$2.2810で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

| 日付 | イベント | 期間 | 予想 | 前回 |
|------|-----------------------------|--------|-------|--------|
| 9/16 | FGVインフレ率IGP-10(前月比) | Sep | 0.90% | 0.15% |
| 9/16 | FGV CPI IPC-S | Sep 15 | 0.26% | 0.25% |
| 9/16 | Trade Balance Weekly | Sep 15 | -- | \$299M |
| 9/17 | CNI Industrial Confidence | Aug | -- | 52.5 |
| 9/18 | FIPE CPI-週次 | Sep 15 | 0.23% | 0.21% |
| 9/18 | IGP-M Inflation 2nd Preview | Sep | 1.11% | 0.11% |
| 9/20 | IBGEインフレ率IPCA-15(前月比) | Sep | 0.28% | 0.16% |
| 9/20 | IBGEインフレ率IPCA-15(前年比) | Sep | 5.93% | -- |

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：2.20－2.40

今週は米FOMCを控えてリアル相場は薄商いとなり、ボラティリティーもやや低い展開となった。リアルは伯中銀によるドル売り介入や大口の資金流入を受けて一ヶ月振りの水準となる2.2650まで回復する場面も見られたが、週を通じて見ると概ね2.28台での推移となった。来週はいよいよ米FOMCが開催される。バーナンキFRB議長ら金融当局者は現行850億ドルの月間債券購入額の縮小開始を決定すると市場では予想されている。市場予想に沿った金融緩和縮小開始が決まれば市場急変となる可能性は低いが、債券購入縮小のペースが市場の期待よりも速すぎれば混乱を招く恐れがあるため、リアル相場は引き続き大きく動く可能性があり、注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department